

情報コーナー

初春落語会

と き 平成30年1月20日(土)
 開場：午後1時、開演：午後1時30分
 ところ 日立シビックセンター 2階多用途ホール
 内容 初音家左橋(落語)
 小泉ポロン(マジック)
 三遊亭吉窓(落語)
 お楽しみ抽選会あり
 しびっく寄席茶屋もご用意しております
 木戸銭 全席指定 2,000円



※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 チケット予約・お問合せ 日立シビックセンター チケットカウンター TEL 0294-24-7720
 ペーパーシッターサービス 平成30年1月13日(土)までに、日立シビックセンター1階チケットカウンター
 または電話にてお申し込みください。(料金：1人1,000円)
 主催：公益財団法人日立市民科学文化財団

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2017年11月～2018年1月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	毎月1回 第2または第3水曜日 10:00～12:00	教育プラザ (国際交流サロン)	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00～20:45 金曜日 14:00～16:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-35-3989(高坂) 0294-24-7261(黒澤)
	あんず年忘れ会 ★	12月17日(日)12:00～	会瀬交流センター	0294-21-4150(福地)
国際交流 ボランティアネット ワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00～ 土曜日 10:00～	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-34-6257(臼井)

活動記録 (2017.8.1～2017.10.31)

- ◆活動推進部会(定例会)
 - ◆広報部会
 - ◆記念事業ワーキングチーム打合わせ
8/18、9/15、10/20
- 平成29年度会員 161人
活動推進部会 32人

編集後記

この会は、来年20周年を迎える。当地は、以前から、海外、特にアジアの国の人々を、大学・工場等が、技術者や研修生や実習生として受け入れてきた。私たちはお互いの国を理解し、交流を行い、私たちがアジアの一員として同胞を暖かく迎え、もてなしてきたことで、20年のしっかりとした足跡を残すことができたと考えている。「一衣帯水」こんなに近い国の仲間たちとずっと親しく付き合うための活動は、「蠅螂の斧」のような微々たるものかもしれない。が、これからも私たちは非常に重要な活動をしているのだ、という自負と誇りを持ち続けていきたい。(桑名記)

～会員募集のお知らせ～

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会では、講演会や料理サロン、ひたち国際文化まつりなどの開催や、広報紙「ひたちとアジア」の発行を通して、アジアの国々の文化を身近に感じ、理解し、交流を深めることを目的に活動しております。会費は無料です。参加希望の方は、事務局へご連絡ください。

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。<http://www.civic.jp>
 連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
 TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第57号

2017年(平成29年)11月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

「グローバルフェスタ JAPAN2017」 お台場へ視察ツアーに行ってきました

今年度の視察ツアー「バスで行くアジア文化めぐり」は、9月30日(土)に参加者36名(事務局2名含む)で実施しました。お台場センタープロムナードで行われた「グローバルフェスタ JAPAN 2017」視察をメインに、アジア料理をヴィーナスフォートで体験し、無事に楽しく行ってきました。

「グローバルフェスタ JAPAN 2017」は、外務省が共催する国際協力活動を行う政府機関や、NGO、企業などが一堂に会する日本最大級の国際交流イベントで、本年の開催で27回目となります。開催目的は、出展者による展示・活動報告・各国料理のフードコーナーを始め、多数のゲストが出演するステージや体験イベント等、楽しくわかりやすいコンテンツを通して、国際協力の現状や必要性などについての理解と認識を深めてもらうことです。今年の開催テーマは『Find your Piece!～見つけよう、わたしたちのできること～』で、“世界を変えるための17の目標”「SDGs※」について様々なコンテンツで紹介し、今私たちができる国際協力を見つけ、一緒に歩み始めましょう!ということです。



記念撮影

当日は7時30分に日立シビックセンターを出発し、10時30分頃に会場に到着。SDGs広場にて全員で記

念撮影後、自由に見学しました。なお「ひたち国際文化まつり」の写真展等に協力していただいたNPO「21世紀のカンボジアを支援する会」もブースを設けていて根岸理事長他関係者と交流しました。昼食は、近くにあるヴィーナスフォート3階「グリーンアジア東京」で各自予約の料理を食べました。



会場全景

午後は、再度会場に戻り自由に見学。夕方帰着し皆で国際協力の必要性をひしひし感じながら無事解散しました。参加会員によるミニミニ報告等は、次ページに掲載しています。

※SDGsとは、《Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)》の略で、地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が2030年までに取り組む17分野の目標です。

【SDGsの目標】(1)貧困の根絶 (2)飢餓の撲滅 (3)健康と福祉の促進 (4)質の高い教育の実現 (5)ジェンダー平等 (6)適切な水の利用と管理 (7)再生可能エネルギーの利用 (8)生産的で、働きがいのある雇用の促進 (9)強じんなインフラと持続可能な産業 (10)国内・国際間の不平等の是正 (11)持続可能なまちづくり(12)持続可能な生産と消費 (13)気候変動への対策 (14)海洋資源の保全 (15)陸域生態系と森林資源の保全 (16)平和で包括的な社会の促進(17)パートナーシップによる目標達成

バスで行くアジア文化めぐり「グローバルフェスタ JAPAN 2017 視察ツアー」ミニ報告

グローバルフェスタ

会場では販売も行われていて、イエメンのコーヒーを買いました。いい香りがしました。トルコ産のアレップのオリーブオイルの石けん、カンボジアのバッグ、そしてカンボジアのビールを飲みました！

また、エリトリアのカレンダーをもらいました！この国はアフリカで2番目に若い独立国。紅海に沿った自然豊かな国だそうです。きれいな海でカメが泳いでいるパネルが展示してありました。エリトリアという国があることを知りませんでした。

気持ちはどっぴり海外ツアー気分です。楽しい買い物できました。

ランチはアジア料理、私はパスタを選びました。パクチーの味が強く、私の舌には新しい味でした。けれども、この味は私の家族には無理かなと思いました。

メインステージではピコ太郎を見かけました。国連でPPAPをうたっているピコ太郎さんをニュースで見ました。最近テレビでみかけないと思っていましたがSDGsで世界に向けて歌を発信していたのですね。

そして私に出来ることはいろいろな国の人々を知り、生活を知ることだと思いました。(黒沢記)



エリトリアの国旗



エリトリアの地図

アジア料理体験

今回のアジア料理体験会場は、グローバルフェスタ会場のすぐ近くにある「グリーンアジア東京ヴィーナースフォート店」です。長い店名で舌を噛みそうですが、エスニック料理店で全60席と広く、当会員36名が入ってもゆったりした気分で食事を楽しめました。

メニューは、グリーンカレー、パッタイ、あさりのフォーの3種類から、それぞれが好みの品を選んでオーダーしました。グリーンカレーは海老入で独特の風味、パッタイはピリ辛のタイ風米粉焼きそば、あさりのフォーはアサリ出汁にレモンとパクチーでさっぱりした米粉麺でした。料理には、サラダとフランスパンと一緒に出されて、これらも含めて美味しくいただきました。

(菊池記)



食事風景



グリーンカレー



パッタイ



フォー

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録 2017年6月～

◆茨城大学工学部国際交流パーティーに参加

6/30 成沢交流センターにて18～20時にて開催。参加者は新入留学生・留学生をサポートする学生チューター、常陸大宮市役所パラオ研修生、フレンドリーあんず代表等30～40人。ベトナム人留学生チューターのタンさんが進行して、新入生・一般参加者の自己紹介。常陸大宮市役所パラオ研修生によるパラオ紹介に続き、ベトナム生春巻きを食べながら歓談した後、全員で集合写真を撮り終了。楽しく有意義でした。

◆国際交流文化祭 in ひたちなかの見学

7/2 ひたちなか市国際交流協会主催でワークプラザ勝田にて開催。内容は、タイ王国の踊りタイ文化を知ろう、茨城高専アワー、歌と演奏とダンス、皆で体験ワークショップ、世界の雑貨販売、日本語ワードツアー。会場は舞台前の観客席に50脚の椅子があり、その周りでワークショップや雑貨販売をしていて、盛況でした。

カンボジア通信

第4シリーズ NO.4

元青年海外協力隊(理数科教師)・現在農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後カンボジアに渡航し、教員養成校の理数科教師として活動し現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。

私がカンボジアの農協事業に関わって早1年2ヶ月が経ちました。ほとんどのカンボジアの農協は信用事業を行っており、組合員に対して預金や貸付サービスを提供しています。地方にも大手銀行はもちろん存在しますが、担保の土地を差し押さえられる、地方で集めたお金を都市部の開発に使われる、契約条件が厳しい等、一般的な農家は銀行の事をよく知りません。そのため、まだまだ顔見知り間のお金の融通が主流です。村の知り合い同士では、返済に困った時に少し待ってもらったりもできますし、決まりが緩い分、融通が利くのです。しかし、年数パーセントの高い経済成長をしているカンボジアにとっては、都市部では高層ビルの建設が盛んで、農村にも否応なく現金が必要な状況に追い込まれていますので、若者たちは農村を離れ、すぐに現金をと外国への出稼ぎが多くなっています。そういうこともあって、カンボジアの銀行では定期預金で年数パーセントと、日本では考えられないほど高い金利がつくのです。

では、そもそもなぜ農協が必要なのでしょうか。それは、

農家を守るためです。農村は日本もかつてはそうでしたが、教育を受ける機会が少なく、字が読めない、秤の目盛りが読めない、計算ができないという人たちが多くいるために、仲買人にごまかされて、せっかく苦勞して作った農作物がタダ同然で買い取られてしまう、まさに『搾取』がまかり通ってきてしまっているためです。しかも、騙されている方は騙されているという事実を気づくことすらできないのです。先日、ある取引現場を見させてもらった時にも、驚いたことに、秤が1キロごまかされていました。その時、幸い農協の役員が気付いて危うくちょろまかしを防ぐことができました。このように、知識をしっかりと持った人たちが中心にグループを作り、取引を監督することで農家を守りつつ、農協としてのビジネスをやっている



農協には倉庫があるので、泥棒から稲もみ、肥料や農機具の盗難を防ぐことも重要な役割です。

かないと、農家の持続性は担保できないのです。さて、私の関わっているプロジェクトでは、前述した信用事業の他にも様々なビジネス活動を指導しています。これらの事業がどのような事を行っているか、次号で詳しく述べたいと思います。お楽しみに！

◆あんず夏祭りに参加

7/10 会瀬青少年の家にて開催されたバーベキュー大会等に参加。例年どおり盛況でした。長年続くこのバーベキュー大会は、12月に会瀬交流センターで開催される、あんず年忘れ会共々日立市内で行われる最大の外国人との交流イベントだと思われます。長年の活動に敬意を表し、今後の継続発展を祈るものです。

◆国際交流・協力ネットワーク会議に参加

7/11 茨城県国際交流協議会主催で県民文化センター分館にて開催。午前中は日本政府観光局インバウンド戦略部長山田洋氏による講演「インバウンド旅行の現状と可能性」が行われ、午後の分科会は「多文化共生ネットワーク会議」に参加。留学生をお客様ではなく、将来の身近な生活者として対応することが大切とのことでした。

◆国際理解教育研修会に参加

8/17 茨城県国際交流協会主催で県民文化センター分館にて開催。内容は(特活)開発教育協会の事務局長中村絵乃氏による国際理解教育についての講演会とワークショップ「世界がもし100人の村だったら」というワークショップを通して、SDGsの背景にある世界の状況を体感し、問題への取り組み方法を学びました。